

昭和49年度卒業生論文

〔氏 名〕	〔課 題〕	永田ゼミナール
浜田ゼミナール		
青木 奏一	総合商社分析	秋山 勲天 昭和48年度の日本経済——調和のとれた成長をめざして——
浅野 佳央	現代資本主義と多国籍企業——多国籍企業の歴史的必然性——	石塚 正己 地租改正とその時期の農民層の分解
飯島 稔之	日本資本主義の発展と独占資本	入屋 圭一 高度成長の中小企業の低賃金構造について
稲葉 勉	資本主義と貧困化	岡田 則夫 経済思想の歴史的変遷
川崎 友則	産業構造の転換	川村 弘義 日本のエネルギー資源と省資源への転換について
小林 信之	戦後日本経済の成長と貿易	桑名 洋 有限資源と人口問題
桜井 修弥	弁証法的唯物論の批判的考察	小林 真 流通問題
平山 秀夫	資本主義体制の全般的危機と社会主義体制の危機	高野 充雄 家庭経済学への入門——消費と貯蓄の経済理論——
宮城 県	現代世界における人口問題	福田 利夫 日本の過疎問題
茂垣 一三	戦後日本経済の発展と停滞	藤村 武史 開放経済体制と中小企業
山崎 竜也	日本の都市と過密	宮本 進 経済学史的・価値論の研究
渡辺 誠	戦後日本農業と食糧問題	矢口 隆一 経済小哲学——土地の行方と土地所有について——
今川 博之	現代インフレ	山来 敏男 経済体制論（イデオロギーの対立から経験主義へ）
大石 宗弘	現代社会と疎外——労働力商品化と新古典派理論——	油原 正男 日本経済の高度成長要因とそのひずみ
矢野ゼミナール		守谷 悌 石油危機にみる混乱日本経済
石館 敏夫	現在の農協—農協における諸問題を中心に	佐々木三善 消費者行動の理論
大倉 昭彦	近代農業	
大山 悦郎	物的流通合理化の地位と近代化—日本経済の長期展望と輸送	鎌田ゼミナール
黒川 俊和	農業の姿	薄井 省三 農業——自給率の低下について——
助川 正美	戦後日本の農家経済の分析と現状	北川由紀夫 多国籍企業と開発途上国との関連
高根沢弘至	昭和48年の卸売物価の高騰と卸売物価高騰下における鉱工業生産および企業経営の状態について	小林 広一 直接投資の国際収支に与える影響
遠山 雄仁	わが国における食糧自給の問題および自給の統計的検討	古谷野 勇 先進諸国による東南アジア開発援助
仁科 辰巳	日本の産業構造の変化と展望	金野 勤 社会保障制度とイギリス経済
萩谷 良一	食料自給	佐藤 晃 高成長下における物価上昇のメカニズム
平沢 昭敏	日本の直接投資と多国籍企業化について	島崎 厚 タイの経済発展と工業化
細田 政弘	総需要抑制政策と金融引締政策の影響と中小企業	白石 孝 アメリカの長期対外直接投資
松永常喜知	現代ケインズ考	須田 政幸 多国籍企業
		高城 敬 日本の賃金
		高山 憲男 日本企業の東南アジア進出——「反日」構造を探る——
		長塚 忠夫 多国籍企業の動向
		中山 三郎 IMF・GATT体制にみる自由化の

	本質
宮本 幸一	日本の貿易
綿引 隆	高成長と物価
鹿野 彰久	経済の軍事化についての一試論

鈴木(啓)ゼミナール

落合久美子	交通事故の定量的分析——田無警察署管内における事例の分析——
小室 光司	都市生活と交通施設
杉谷 一郎	日本の食糧問題
高間 一人	人口論の歴史的考察, 古典学派, 新古典学派の論述
溝手 至	グラビティ・モデルに関する一考察, 物資輸送量及び郵便量の定量的分析
川崎代志美	人口増加と環境問題についての一考察

速水ゼミナール

安藤 大右	預金と貯蓄—預金面から見たインフレによる金利の目減り
飯田 茂昭	中小企業金融について
岩井 満	わが国の金融政策と金融構造
大貫 賢一	中央銀行政策としての金融政策—その手段と効果を中心に
萩沼 国明	コスト・インフレーションの原因とその対策(スタグフレーションの対策としての欧米諸国における所得政策)
狩野 広	国際通貨体制成立史
滝沢 康博	イギリス金本位制について
津久井孝典	地方銀行の歩み
飛田 広隆	地方銀行の歴史
沼野 正	我が国の通貨制度について
松葉 和文	デノミネーション
山岡 英夫	貨幣の機能
山田 祐三	国際通貨制度—特に改革案について
青木 正史	現代のインフレーション—農畜産物における消費者物価騰貴の要因

工藤ゼミナール

小沼 克己	青果物の出荷輸送
岡沢 孝男	茨城県南部地域の路線バスの乗務員不足問題とその対策
佐藤日出雄	大都市交通における各種交通機関の利害得失
斎藤哲三郎	長距離フェリーの性格と将来性
田口 宣雄	トラック運輸業の労働力不足に関しての一考察
田中 広見	百貨店における進出計画と立地条件

田中 宏明	我々と都市営鉄道の経営問題
中島 章	国鉄の赤字解消についての一考察
長山 幸博	第二次交通革命と交通公害について
保科 和利	交通事故の現状及び安全対策
宮本 富夫	わが国の交通政策とその問題点
谷萩 宏	交通事故の現状と対策
瀬川 博章	貨物運送制度の妥当性

松本ゼミナール

出山 栄	高度経済成長政策下におけるわが国農業
額賀 辰弥	International Monetary Fund 体制下での国際通貨危機
山田 泰三	長州藩の藩政改革
岩間 秀之	中小企業の今後の動向—現在の問題点と政策
太田 晋一	輸送方式多様化におけるコンテナ輸送
佐藤 直秀	日本自動車産業史
菅原 英二	高度成長経済と重化学工業
菅原 和彦	「価値」
杉山 則道	インフレーションの基本的理解と国民生活
鈴木 健紀	石油危機問題
挽野 博伸	物価問題
松尾 和彦	食糧管理制度
谷田川俊則	わが国の婦人労働における賃金問題
渡辺 肇	インフレーション及び昭和50年の企業環境
湊 政一	企業における「生産性向上」分析
石井 親人	石油危機下における石油産業の特質と今後の動向
石島 利彦	石油危機について
大湯 雅信	経営における人間関係の一考察
中村 健吾	日本の職務給研究
宮田 誠一	「車社会」—人間優先を前提として

板倉ゼミナール

宮部 文男	水戸市の商業
平沢 真	燕—その歴史と産業
小田倉 昭	大宮町における農業の変化
大内 直文	下請企業および熟練労働力の形成
大橋 武市	富山県の農業
坪内 利昭	京都府の人口と商業
坂手 雅弘	香川県の産業

渡辺ゼミナール

浅利 克光	現代日本社会における都市と人間生活
-------	-------------------

- をめぐる諸問題—特に、疎外をめぐっての問題点を考える
- 小貫 久敏 わが国の自動車交通をめぐる諸問題—日本モータリゼーションの現状とビジョン
- 北 晴夫 現代日本における都市問題を考える—都市環境をめぐる実態と理論からの一考察—
- 北本 弘 現代我国の農村における青年の意識と行動に関する研究—とくに農村の風習と青年ということを中心として—
- 仁平 晴美 むしばまれてきた農業—高度経済成長（昭和30年代）下の農業
- 田中 敏春 都市の現実と展開—日本の都市の欠点及び弱点の提示—
- 宮本 茂樹 日本における過疎問題—その現状と施策
- 山本 哲己 現代日本における社会の変動と変革—人間性の復権をめざして—
- 山口 勝彦 現代わが国の労働組合と調査活動の諸問題—労働組合の調査活動を中心として
- 柏崎美知雄 わが国の地域開発にともなう諸問題に関する一考察

長島ゼミナール

- 沼崎 誠 企業内コミュニケーション制度—経営参加に関連して—
- 河原崎 守 マーチャンダイジング機能の一考察—その展開の方向—
- 中島 靖夫 我が国労務管理の課題
- 加藤 佳彦 企業内における創造性の開発—創造的人間の育成
- 加藤 勘二 現代企業の組織問題
- 岩崎 光夫 協同組合の発展過程と方向
- 長谷川洋美 新規参入の中小企業について
- 葛西 盛一 余暇—その概念と我が国における現状と産業との関連—
- 西山 正美 我が国卸売業の現状と問題点
- 赤松 邦夫 労務管理の一考察—とくに日本的労務管理について—
- 倉持 和三 労務管理—経営における人間関係管理を中心として—
- 野沢 建夫 流通近代化における我が国小売商業—大型小売業と小型小売業の実態

- 大野 友敬 経営事務管理
- 笹沼 清孝 我が国企業における海外事業活動—海外事業活動の歴史的展開と今後の課題—
- 堀越 勝雄 現代企業の問題点—とくに企業の社会的責任に関連して—
- 渡辺 博 企業における社会的責任の展開—ドラッカー経営学を中心として—

吉田ゼミナール

- 大野由紀雄 環境の変化に対応する戦略的経営論
- 小西 弘美 企業戦略論
- 斉藤 章 日本の公企業経営—国鉄経営の分析
- 鈴木 亨 信用金庫経営の基本問題
- 富田 芳広 これからの地方自治—地方自治体の経営・管理
- 根本 和彦 現実的なリーダーシップと管理者
- 佐藤 元久 中小企業の経営と存立根拠
- 四十栄敏光 現代社会における変革の地方自治

山口ゼミナール

- 大内 守 地方卸売業の共同化と協業化—卸商団地の現状と問題点—
- 長内 正大 食糧危機と農業について
- 和知 晴夫 現代日本の中小企業
- 蛸原 康裕 日本企業における多国籍化戦略の問題点
- 柏村 幸雄 日本における株式会社形態の発生について
- 鈴木 建尋 企業集団について
- 田中 伸一 日本の経営における経営理念の史的考察
- 岩崎喜代彦 三井財閥の形成・発展に関する経営史的研究
- 秋元ときお 長瀬商店の発展—花王石鹼株式会社の研究
- 斎藤 弘道 我国の週休2日制導入へのアプローチ—生産性の問題と中小企業への導入について—

林ゼミナール

- 秋本 克己 銀座における営業業務の研究
- 大野 和夫 竜ヶ崎市経済活動史
- 大森 幸子 地租改正について
- 忽那 達士 三越百貨店の歩み—越後屋から三越までの経営戦略—
- 中山 正彦 大山林地主と農民—国有林・御料林・

- 財閥所有林について——
- 伯耆田 広 朝鮮と日本 帝 国 主 義——1875年から
1919年まで——
- 金森 正己 日本の経営者
- 坂本 誠 茨城の物産史
- 鈴木 隆 昭和金融恐慌——その要因についての一断面——
- 中嶋 一成 明治・大正期における労働組合運動の進展
- 延原 年泰 日本における原始的蓄積——江戸期における地主・小作関係を中心として

十合ゼミナール

- 斉藤 和彦 小売業における販売促進と情報供給
- 斉藤 伸一 わが国におけるボランティアチェーンの発展とその将来
- 深瀬 和彦 これからの卸売経営＝生き残るための卸売経営
- 大木 節 これからの日本における男子洋服の製品企画
- 勝田 健次 信用金庫におけるマーケティングとその個性について
- 金戸 清己 広告＝その社会性を踏まえて＝
- 川村不二男 千葉県商業の分析と展望
- 久保田江平 わが国における流通産業＝流通の近代化・合理化
- 篠原 聖 野菜の流通に関して
- 島田 恵 ショッピングセンター論＝日本のショッピングセンターの将来＝
- 田中 久也 現代日本における自動車産業
- 長谷川 順 企業における包装戦略
- 村田 洋一 流通コストの低減
- 小林 勇 一戸建て住宅の流通チャネル＝プレハブ住宅を中心として

定村ゼミナール

- 石井ゆり子 企業における販売促進活動の位置づけ——特に P. O. P. 広告の重要性と将来について——
- 鶴沢 弘彦 販売促進政策について
- 小倉 昭雄 広告と消費者
- 岡本 謙三 新しい販売方式へのアプローチ——カタログ販売の可能性——
- 菅原 泰 販売経路政策における諸考察
- 高根志美男 企業の社会的責任
- 竹林 英樹 独占禁止法とマーケティング——流通

支配をめぐる問題点——

- 中村 英二 再販規制強化の動きと今後の課題
- 美藤 賢郎 デノミネーション
- 益子 仁 過疎地域における商業——特に茨城県久慈郡大子町について——
- 朝日向副夫 政治とマーケティング
- 家田 孝一 寡占経済と麦酒産業
- 小野 栄一 生鮮食料品の流通
- 坂本 政和 わが国企業の国際マーケティング戦略
- 鶴丸 文一 日本中小企業の経営考察

中島ゼミナール

- 小原 文男 現代の都市交通——現代都市交通の問題点——
- 前島 輝男 チェーンストアの研究
- 水落 勝喜 新幹線と地域経済の変動——山陽新幹線をモデルとして——
- 高橋 昌子 国鉄貨物運賃と物価問題

加古ゼミナール

- 須藤 憲一 時価主義会計の展望
- 高橋 真 設備資産概念とその原価配分思考
- 高松 勝広 会計上の資本概念と利益概念——両概念の区分基準を中心に——
- 市川 公一 会計情報の現代的意義
- 岡野誠一郎 現代会計学の課題——会計職能論の展開を中心に——
- 福田 英樹 棚卸資産会計上における低価主義への若干の考察

矢沢ゼミナール

- 石塚 悟宏 大都市内物流とトラック貨物輸送
- 糸賀 重男 流通と物流基地
- 上田 正之 日本の石油問題
- 金子 信男 野菜の流通
- 小松 新一 海上コンテナ輸送の効果と問題点
- 白須 一彦 繊維問屋とその将来
- 豊田 浩一 我国における都市交通問題
- 橋本 武彦 航空貨物輸送の現状と将来——主に国際航空貨物——
- 林 康夫 農産物の商品的性格と流通
- 星野 隆教 我国における畜産物流通とその施設
- 三宅 彰敏 近代小売商百年の沿革
- 玉置 弘之 物流におけるORの方法
- 島 不二彦 食料危機と日本

長谷川ゼミナール

- 飯島 豊美 費用収益の対応について

海老沢和美 収益の認識について
 小野 秀人 資本剰余金について
 藤ヶ崎次郎 所得税に関する一考察
 岩谷 純二 損益計算論に関する一考察
 近藤 齊 固定資産会計に関する一考察
 花江 俊一 真实性原則についての一考察
 山中 昇 最高経営者の決定的条件
 市村 和彦 安定価値会計の考察
 榎森 芳一 資産評価基準について

岡田ゼミナール

浅野 光男 会社乗取りについて
 大野 均 手形偽造に伴う被偽造者の責任について
 笹本 宏巳 独禁法と行政指導
 須能 庸夫 公害における故意過失と違法性
 松木 広喜 株主総会における議決権行使とその問題点
 宮本 裕二 カルテルの研究
 本橋 良信 会社乗取りの法的考察
 大谷 竜司 株式会社の政治献金
 秋谷 康広 協議離婚についての一考察
 秋山 昌良 医療過誤についての一考察
 有路 博臣 都市の現状と将来の展望

谷染 茂行 会社犯罪の研究——経営者背任の性格と類型——
 小平 直樹 株主総会の機能と株主の議決権行使について——株主総会の実態と議決権の濫用——

前田ゼミナール

安蔵 淳 争議行為と賃金
 上田 恵英 公務員の労働基本権
 加藤日出夫 争議行為と賃金カット
 北山 敦 所得政策——イギリスにおける所得政策の展開からみた賃金問題
 佐藤 数意 公務員のストライキ権
 斉藤 辰夫 争議行為と第三者
 塩崎 久幸 年次有給休暇の実行について
 宗 正博 公務員と公共企業体等職員の労働関係「不当労働行為」について
 埴本 一幸 労働協約についての一考察
 寺門 雅之 不当労働行為
 道具 弘之 官公労働者の労働基本権保障について
 深田 孝司 官公労働者の労働基本権
 深見 陽一 労使協議のもち方、すすめ方
 神門 久幸 ロック・アウト
 佐藤 隆博 年少労働者の保護
 石嶋 昭男